

鉄道ピクトリアル

2021年9月号 Vol.71 No.9 通巻No.989

〈特集〉房総地区 鉄道の興味

■表紙 小湊鉄道のニューフェイス キハ40 ……松浦 広明
五井 2021-5-15

■グラフィック

常春の半島 (1~8ページ)

吉田明宣・与野正樹・常田信樹・浅田丈司・松浦広明
……………松本良和・関根敏男・戸塚光弘・田中信吾・佐藤和幸
金子 聡・米倉裕一郎・関 周一・三島達夫

房総の鉄道メモワール (92~96ページ)

太田正行・三ッ谷政久・辻阪昭浩・石原裕紀・梶川義実
……………中村智哉・土生津秀之・松田 巧・井上英樹・三浦 衛

房総の鉄道 絵葉書17選……………所蔵と解説：白土貞夫… 39
1960年代 房総の鉄道風景……………写真：辻阪昭浩・関根敏男ほか… 44
銚子電鉄の思い出あれこれ……………花上 嘉成… 50
1970's~房総地区の列車セレクション
……………写真：沢柳健一・片山康毅ほか… 54

Pictorial Color Gallery 孤高の伝統特急……………藪下 茂樹… 89

JR東日本田端運転所で電気機関車撮影会を開催/JR九州キハ67・66形引退へ/JR四国予讃線伊予土居—新居浜間開業100周年/JR北海道H100形を釧路所へ投入/J小田急電鉄の車両動向/J京阪電気鉄道の話/J近江鉄道ガチャコンまつり 2021 in 東近江市開催ほか

96~98
108~110

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)……………99
相模鉄道の車両動向ほか……………構成：大里信之…106
連載・昭和の鉄景(第57回)……………椎橋 俊之…134

■本文

今月の話題：房総地区 鉄道の興味……………編集部… 9
房総地区国鉄・JR各線 輸送の推移—昭和40年代中盤~平成初期を中心に—
……………佐藤 信之… 10
資料から見た房総の鉄道史話……………白土 貞夫… 27
房総夏季輸送の思い出……………長谷川 明… 60
通勤形直流電車209系2000番代概史〔前編〕……………日向 旭… 75
房総DL牽引による電車準急の記録……………三宅 俊彦…124
モーガルは軽やかに房総で長く活躍した58677の軌跡…石井 芳男…128
走る産直市「リゾートあわトレイン」に乗る……………静 拓志…131

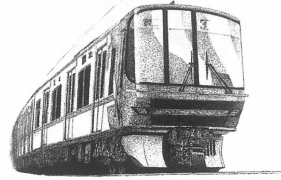
鉄道の話……………編集部… 38
書評(678)『今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい新幹線技術の本』
……………曾根 悟…111

鉄道技術との60年〔9〕—国鉄系鉄道関係協会との付き合い—
……………曾根 悟…112

東京地下鉄18000系……………高山 滋之…116
6月のメモ帳……………135
読者短信・情報ファイル……………136
後部車から……………139

ISSN0040-4047
Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

房総地区 鉄道の興味

千葉県を大部分を占める房総半島には、国鉄・JR路線として東京—銚子間(および御茶ノ水—錦糸町間など)の総武本線120.5kmと成田線、半島をめぐる鉄道の拠点となる千葉を起点とした外房線、蘇我が起点となる内房線、そして京葉線を中心とした路線網が展開され、私鉄では大手として京成電鉄、中小として小湊鉄道、いすみ鉄道、銚子電気鉄道などが存在する。千葉市内の都市交通として千葉都市モノレール(軌道)もある。千葉周辺の路線は首都圏の鉄道ネットワークに組み込まれ、通勤・通学輸送に重要な役割を果たしているが、それ以外の路線は道路交通の発達とともに近年ではもっぱら地域内輸送が主体となっており、事業展開のうえでは厳しい環境の中にある。歴史上においても総武鉄道により1890年代に初めて鉄道が開業し、その発展は関東の他地域に対し早くはなかった。

こうした房総半島をめぐる鉄道は、輸送面においてもかつてその発達は遅れ気味であり、千葉以遠では総武本線成田までの電化が1968年で、以降外房・内房線を含めて順次電化が進められた。その一方、夏の海水浴輸送などでは、非電化時代はターミナルとして機能していた両国から多彩な列車が運転され、急行・準急形から一般形までが混在した気動車や客車による臨時列車、電化後も通勤形や近郊形を総動員した海水浴列車など、趣味の視点からは興味ある運転が行われた。私鉄についても、小湊鉄道をはじめ昔も今も個人的な路線が多く、地域の足としての役割を担いつつ、行楽需要に対応した工夫された施策が進められ、今後の展開が期待できる。総じて概観すると房総地区には独特の鉄道文化が盛り沢山に詰まっており、派手さはないものの、風土を活かす鉄道の楽しさが実感できる希有な地域であるように思う。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan